

第 16 回（2018 年度）土壌物理学会（論文賞）選考結果

土壌物理学会 学会賞選考委員会
委員長 長 裕幸

学会賞選考委員会として下記の論文を論文賞としてふさわしいと決定しました。

1. 中野恵子（農研機構九州沖縄農業研究センター）
深見公一郎（農研機構九州沖縄農業研究センター）

2. 対象論文

水稻乾田直播栽培におけるローラによる地表面鎮圧が作土の間隙構造に及ぼす影響，土壌の物理性，第 136 号，p. 27-35，2017

3. 推薦理由

本研究は，水稻作を省力的に実施できる乾田直播栽培において，代掻きにかわる漏水防止工程としてローラ鎮圧を行うときの浸透抑制効果を明らかにすることを目的としており，鎮圧作業を重ねることにより，作土中のどの部分で圧縮が進むのかを，土層中に設置したマーカーの移動，作土厚および全間隙率の計測により明らかにした。また，鎮圧による圧縮が，間隙構造にどのような影響を及ぼすのかを水分特性曲線に基づく間隙径分布の変化から評価した。

本論文では，過去の研究では示されてこなかった，地表面直下や耕盤直上部における圧縮集中層の存在や，鎮圧回数の増加に伴う作土層内間隙径分布の定量的な変化を明らかにしており，その研究的な価値は非常に高いと思われる。

以上の理由により，対象論文は第 16 回土壌物理学会賞（論文賞）に値するものと認め，ここに推薦する次第である。

本結果は 2018 年 10 月 26 日に開催された評議員会ならびに総会（10 月 27 日）にて全会一致で承認され，総会後に授賞式が開催されました。

第 16 回（2018 年度）土壤物理学会（ポスター賞）受賞者

土壤物理学会 学会賞選考委員会
委員長 長 裕幸

開催日：2018 年 10 月 27 日

会 場：2018 年度土壤物理学会大会ポスターセッション会場
(札幌市：北海道大学農学部)

以下の発表が会員および選考委員会による投票によりポスター賞に選ばれました。

- 業 績：砂浜にすむ絶滅危惧種イカリモンハンミョウ幼虫の水没回避行動から学んだ
土壤物理学
著 者：水田陽斗・百瀬年彦・上田哲行

- 業 績：安価なセンサを活用した蒸発散量の推定
著 者：丹野真衣・大山正巳・平嶋雄太・宮本英揮

- 業 績：径の異なる土塊土壌からの蒸発と見かけの拡散係数
著 者：松本宜大・吉田修一郎・西田和弘・塩沢 昌

- 業 績：Rosseta による中国乾燥地圃場の黄土の土壤水分特性の推定と評価
著 者：竹下修司・田川堅太・徳本家康・長 裕幸

- 業 績：凍結実験に基づく数値解析の地表面熱境界条件の検討
著 者：奥田涼太・渡辺晋生